

## 各検討項目の検出状況について

## 1. 各検討項目の検出状況

## (1) 水質目標値(案)に対する超過状況

公共用水域での調査結果が比較的揃っている直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)と4-t-オクチルフェノールについては、近年5年間(平成19年度から平成23年度)、平成15年答申で検討されたアニリンと2,4-ジクロロフェノールについては、平成15年答申以降のデータ(平成14年度から平成23年度)の水質目標値(案)の超過状況及び水質目標値案の10%値の超過状況は下表のとおりである。

なお、類型指定がされていない水域もあることから、検出状況は淡水域、海域別の測定地点数に対する割合として算出している。また、各年度ごとの検出状況は別紙1のとおりである。

## 【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)】

## ・淡水域

全国延べ、906地点中

生物Aの目標値30 µg/Lを超過する地点は49地点(5.4%)

10%値を超過する地点は197地点(21.7%)

生物特Aの目標値20 µg/Lを超過する地点は77地点(8.5%)

10%値を超過する地点は236地点(26.0%)

生物Bの目標値50 µg/Lを超過する地点は32地点(3.5%)

10%値を超過する地点は158地点(17.4%)

生物特Bの目標値40 µg/Lを超過する地点は38地点(4.2%)

10%値を超過する地点は181地点(20.0%)

## ・海域

全国延べ、22地点中

生物Aの目標値10 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は1地点(4.5%)

生物特Aの目標値6 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は1地点(4.5%)

#### 【4-t-オクチルフェノール】

##### ・淡水域

全国延べ、2,018地点中

生物Aの目標値1  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は42地点(2.1%)

生物特Aの目標値0.7  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は1地点(0.05%)

10%値を超過する地点は58地点(2.9%)

生物Bの目標値4  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は3地点(0.1%)

生物特Bの目標値3  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は5地点(0.2%)

##### ・海域

全国延べ、243地点中

生物Aの目標値0.9  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は1地点(0.4%)

生物特Aの目標値0.4  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は5地点(0.2%)

#### 【アニリン】

##### ・淡水域

全国延べ、280地点中

生物Aの目標値20  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は1地点(0.4%)

10%値を超過する地点は2地点(0.7%)

生物特Aの目標値20  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は1地点(0.4%)

10%値を超過する地点は2地点(0.7%)

生物Bの目標値20  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は1地点(0.4%)

10%値を超過する地点は2地点(0.7%)

生物特Bの目標値20  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は1地点(0.4%)

10%値を超過する地点は2地点(0.7%)

##### ・海域

全国延べ、76地点中

生物Aの目標値100  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

生物特Aの目標値100  $\mu\text{g/L}$ を超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

## 【2,4-ジクロロフェノール】

### ・淡水域

全国延べ、1,776地点中

生物Aの目標値30 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

生物特Aの目標値3 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は2地点(0.1%)

生物Bの目標値30 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

生物特Bの目標値20 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

### ・海域

全国延べ、151地点中

生物Aの目標値20 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

生物特Aの目標値10 µg/Lを超過する地点は0地点(0.0%)

10%値を超過する地点は0地点(0.0%)

なお、超過状況を整理するに当たって用いた調査結果は次のとおりである。

要調査項目等存在状況調査結果(環境省水環境課)

内分泌攪乱化学物質における環境実態調査結果

全国一級河川における微量化学物質に関する実態調査(国土交通省)

化学物質と環境(環境省環境保健部)

地方公共団体が独自に行っている測定結果

(別紙 1 - 1)

公共用水域における【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)】の検出状況について

淡水域

実施年度	検出 地点数	/	測定 地点数	検出範囲( µg/L)		検出下限( µg/L)		生物 A				生物特 A			
				最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(30)超過		10%値超過(3)		目標値(20)超過		10%値超過(2)	
								地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	131	/	268	0.2	700	0.02	100	14	5.2	82	30.6	28	10.4	95	35.4
2008	99	/	225	0.12	810	0.01	20	12	5.3	44	19.6	15	6.7	54	24.0
2009	92	/	211	0.05	19,000	0.01	20	9	4.3	42	19.9	13	6.2	52	24.6
2010	45	/	117	0.06	130	0.03	20	11	9.4	24	20.5	17	14.5	28	23.9
2011	41	/	85	0.1	70	0.03	10	3	3.5	5	5.9	4	4.7	7	8.2
2007-2011	408	/	906	0.05	19,000	0.01	100	49	5.4	197	21.7	77	8.5	236	26.0

実施年度	生物 B				生物特 B			
	目標値(50)超過		10%値超過(5)		目標値(40)超過		10%値超過(4)	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	10	3.7	65	24.3	11	4.1	74	27.6
2008	8	3.6	39	17.3	10	4.4	42	18.7
2009	5	2.4	28	13.3	6	2.8	38	18.0
2010	7	6.0	21	17.9	9	7.7	22	18.8
2011	2	2.4	5	5.9	2	2.4	5	5.9
2007-2011	32	3.5	158	17.4	38	4.2	181	20.0

公共用水域における【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸（LAS）及びその塩】の検出状況について

海域

実施年度	検出 地点数	/	測定 地点数	検出範囲(µg/L)		検出下限(µg/L)		生物 A				生物特 A			
				最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(10)超過		10%値超過(1)		目標値(6)超過		10%値超過(0.6)	
								地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	0	/	8			0.2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2008	0	/	5			0.2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2009	4	/	5	0.19	1.9	0.2	0.2	0	0.0	1	20.0	0	0.0	1	20.0
2010	0	/	2			0.2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2011	0	/	2			0.1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2007-2011	4	/	22	0.19	1.9	0.1	0.2	0	0.0	1	4.5	0	0.0	1	4.5

注；検出下限値未満のデータは、不検出として取り扱っている。

出典；地方自治体（2008-2012）;独自調査結果、環境省(2008-2012);要調査項目等存在状況調査結果

(別紙 1 - 2)

公共用水域における【4-t-オクチルフェノール】の検出状況について

淡水域

実施年度	検出 地点数	/	測定 地点数	検出範囲(µg/L)		検出下限(µg/L)		生物 A				生物特 A			
				最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(1)超過		10%値超過(0.1)		目標値(0.7)超過		10%値超過(0.07)	
								地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	72	/	553	0.003	0.64	0.00001	0.5	0	0.0	12	2.2	0	0.0	17	3.1
2008	38	/	424	0.0097	0.96	0.00001	0.5	0	0.0	5	1.2	1	0.2	9	2.1
2009	72	/	339	0.003	0.24	0.00001	0.5	0	0.0	19	5.6	0	0.0	23	6.8
2010	31	/	333	0.004	0.17	0.001	0.01	0	0.0	3	0.9	0	0.0	4	1.2
2011	45	/	369	0.0094	0.31	0.0007	0.03	0	0.0	3	0.8	0	0.0	5	1.4
2007-2011	258	/	2,018	0.003	0.96	0.00001	0.50	0	0.0	42	2.1	1	0.0	58	2.9

実施年度	生物 B				生物特 B			
	目標値(4)超過		10%値超過(0.4)		目標値(3)超過		10%値超過(0.3)	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	0	0.0	2	0.4	0	0.0	3	0.5
2008	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.2
2009	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2010	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2011	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
2007-2011	0	0.0	3	0.1	0	0.0	5	0.2

公共用水域における【4-t-オクチルフェノール】の検出状況について

海域

実施年度	検出 地点数 / 測定 地点数		検出範囲( µg/L)		検出下限( µg/L)		生物 A				生物特 A			
							目標値(0.9)超過		10%値超過(0.09)		目標値(0.4)超過		10%値超過(0.04)	
							地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2007	1	/ 50	0.1	0.1	0.01	0.03	0	0.0	1	2.0	0	0.0	1	2.0
2008	1	/ 52	0.05	0.05	0.01	0.03	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.9
2009	1	/ 28	0.01	0.01	0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2010	2	/ 71	0.006	0.07	0.015	0.07	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.4
2011	1	/ 42	0.01	0.01	0.01	0.03	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4
2007-2011	6	/ 243	0.006	0.10	0.01	0.07	0	0.0	1	0.4	0	0.0	4	1.6

注；検出下限値未満のデータは、不検出として取り扱っている。

出典；地方自治体（2008-2012）;独自調査結果、環境省(2008,2012);要調査項目等存在状況調査結果

国土交通省(2008-2010);全国一級河川における微量化学物質に関する実態調査の結果について(ダイオキシン類、内分泌かく乱化学物質)、国土交通省(2011-2012);  
全国一級河川の水質状況

(別紙 1 - 3)

公共用水域における【アニリン】の検出状況について

淡水域

実施年度	検出 地点数	/	測定 地点数	検出範囲(µg/L)		検出下限(µg/L)		生物 A、生物特 A		生物 B、生物特 B	
				最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(20)超過		10%値超過(2)	
								地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2002	4	/	30	0.02	0.53	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2005	25	/	104	0.02	180	0.02	0.06	1	1.0	1	1.0
2006	25	/	54	0.02	1.4	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2007	18	/	40	0.1	2.8	0.02	0.02	0	0.0	1	2.5
2008	20	/	52	0.02	0.23	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2002-2008	92	/	280	0.02	180	0.02	0.06	1	0.4	2	0.7

海域

実施年度	検出 地点 数	/	測定 地点数	検出範囲(µg/L)		検出下限(µg/L)		生物 A、生物特 A		生物 B、生物特 B	
				最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(100)超過		10%値超過(10)	
								地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2002	1	/	10	0.02	0.02	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2005	6	/	39	0.02	0.08	0.02	0.06	0	0.0	0	0.0
2006	4	/	17	0.03	0.16	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2007	2	/	5	0.32	0.39	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2008	4	/	5	0.02	0.11	0.02	0.02	0	0.0	0	0.0
2002-2008	17	/	76	0.02	0.39	0.02	0.06	0	0.0	0	0.0

注；検出下限値未満のデータは、不検出として取り扱っている。

出典；環境省水・大気環境局水環境課（2004,2007～2009）：平成 14,17～20 年度要調査項目等存在状況調査結果

環境省環境保健部環境安全課（2007）：平成 17 年度化学物質環境実態調査結果



(別紙 1 - 4)

公共用水域における【2,4-ジクロロフェノール】の検出状況について

淡水域

実施年度	検出 地点数	/ 測定 地点数	検出範囲 (µg/L)		検出下限 (µg/L)		生物 A				生物特 A				
			最小値	最大値	最小値	最大値	目標値(30)超過		10%値超過(3)		目標値(3)超過		10%値超過(0.3)		
							地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	
2002	14	/	201	0.01	0.88	0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5
2003	10	/	244	0.01	0.25	0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2004	17	/	294	0.01	0.03	0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2005	9	/	277	0.01	0.62	0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
2006	3	/	194	0.01	0.02	0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2007	9	/	173	0.002	0.25	0.001	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2008	6	/	189	0.001	0.28	0.001	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2009	0	/	123			0.01	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2010	1	/	39	0.01	0.01	0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2011	0	/	42			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2002-2011	69	/	1,776	0.001	0.88	0.001	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.1

実施年度	生物 B				生物特 B			
	目標値(30)超過		10%値超過(3)		目標値(20)超過		10%値超過(2)	
	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)	地点数	割合(%)
2002	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2003	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2004	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2005	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2006	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2007	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2008	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2009	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2010	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2011	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2002-2011	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

公共用水域における【2,4-ジクロロフェノール】の検出状況について

海域

実施年度	検出地点数 / 測定地点数	検出範囲 (µg/L)		検出下限 (µg/L)		生物 A				生物特 A			
		最小値	最大値	最小値	最大値	目標値 (20) 超過		10% 値超過(2)		目標値 (10) 超過		10% 値超過(1)	
						地点数	割合 (%)	地点数	割合 (%)	地点数	割合 (%)	地点数	割合 (%)
2002	0 / 23			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2003	0 / 27			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2004	0 / 20			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2005	0 / 27			0.01	0.03	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2006	0 / 8			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2007	0 / 13			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2008	0 / 13			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2009	0 / 7			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2010	0 / 6			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2011	0 / 7			0.01	0.01	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2002-2011	0 / 151	0	0.00	0.01	0.03	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

注；検出下限値未満のデータは、不検出として取り扱っている。

出典；地方自治体（2008-2012）；独自調査結果

環境省水環境部企画課（2002）；平成 13 年度水環境中の内分泌攪乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）実態調査結果の概要。

環境省環境管理局水環境部企画課（2003）；平成 14 年度内分泌攪乱化学物質における環境実態調査結果（水環境）について。

環境省環境管理局水環境部企画課（2004）；平成 15 年度内分泌攪乱化学物質における環境実態調査結果（水環境）について。

環境省水・大気環境局水環境課（2005）；平成 16 年度内分泌攪乱化学物質における環境実態調査結果（水環境）。

環境省水・大気環境局水環境課（2007～2009）；平成 17～20 年度要調査項目等存在状況調査結果